



発行日 平成 27 年 12 月 10 日
発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会
神戸市中央区神若通 5 丁目 3 番 26 号
(中山記念会館内 神戸ライトセンター)

第29回 朗V連交流会 盛会のうちに終わる

心配した朝からの雨も上がり、第 29 回朗読ボランティア連絡会交流会が 11 月 26 日（木）午後 1 時から、兵庫県民会館「けんみんホール」にて開催されました。

朗V連の 26 グループと一般参加の方も含め、200 名を超える方々にご来場いただきました。そして、ご多忙の中、公益財団法人 中山視覚障害者福祉財団湯川常務理事はじめ、ご来賓また先輩諸先生方のご出席を頂き、盛会裏に交流会を終えることが出来ました。本当にありがとうございました。

第 1 部では、グループ潮騒（洲本市）と かしの実グループ（加西市）による朗読発表が行われました。グループ潮騒の『花の顔』では、嫁のさとの心の動きが如実に伝わってくる見事な朗読を、そして、かしの実グループの『返信』では、音響とスクリーンの照明を効果的に使い、旅の情景が鮮やかに浮かび上がる素晴らしい朗読を聞かせて下さいました。みなさん良い刺激になったと思います。

第 2 部では、木津川 計さんによる一人語り『父帰る』の公演が行われました。木津川 計さんの人柄が滲み出るような優しい語り口の「木津川節」に引き込まれた後、作品の時代背景を解説していただき、次に映画『おくりびと』の語りを通して現代の父子の絆を、笑いあり涙ありでお話して下さいました。

第 1 部、第 2 部ともに充実した時間を過ごし、出席グループの紹介、おしゃべりなどで交流も深められたようです。楽しくあっという間の一日でした。今後もさらなる会員の交流を深め、つながりを強めてまいります。交流会にご参加くださった皆様には、アンケートへのご協力ありがとうございました。貴重なご意見を真摯に受け止め、これからの活動につなげていきたいと思ひます。



第 29 回交流会に参加して

太子町朗読グループ言の葉 三矢 恵美子

第一部「潮騒」「かしの実」両グループの朗読は臉上に映像が浮かぶ素晴らしい朗読で聞き入り感動しました。第二部の木津川先生の語りはさすが長年培われた自然な語り口で心にしみとおるものがありました。朗読のはじまりから現代までの移り変わる様子も興味深く聞きました。また方言が衰退しないよう地方の話はその地域の言葉で語る、そういうことに情熱を注いでいらっしゃる姿が実年齢よりずっと若々しく見え応援したく思ひました。そして今年も県内の多くの同輩と出会え、楽しい一日となりました。朗V連の幹事のみなさまありがとうございました。

朗読発表を終えて



乙川 優三郎 作『花の顔』

今年の春、仲間から背中を押され、安岡先生に手を引っ張っていただきながら、「花の顔」の世界へ一步一步足を踏み入れていきました。そして、約5か月の間、山あり谷ありの道を皆に支えられながら歩み、発表の日を迎えることができました。二人で舞台に立った時には、体は凍りついたようにこわばっていましたが、会場の皆様によって醸し出される温かい空気に徐々に包まれ、朗読の終盤には、さとの心と同じように私達の心も気持ちよく開放されていたように思います。こんなにも素敵な経験をさせていただき本当にありがとうございました。

グループ潮騒 出演者



高田 郁 作『返信』

朗読に精通されている方達の前で舞台に立ち朗読するのは初めてのことで、大きなプレッシャーがありました。作品を読めば読むほど表現の難しさを痛感し不安になりました。しかし、今自分にできることを精一杯しようと思直し、家族の耳に届かない部屋で懸命に練習しました。何とか終わることができて、ほっとしています。御指導して頂きました木村先生はじめ、この機会を与えて頂き協力して下さった方々に深く感謝しています。

かしの実グループ 出演者



交流会アンケートより

第1部 朗読発表

- * 二組とも心がこもった良い朗読だった。目を閉じて聞かせていただきましたが、情景が浮かんで来ました。

『花の顔』

- * 情景が脳裏に浮かび、優しさで涙があふれました。間がたつぷりで良かった。音の入り方に変化があり、勉強になった。

『返信』

- * 男性の声のかたが自然で引き込まれた。
- * 音楽効果良好。

第2部 公演

- * ラジオで聞いている木津川先生の生の声を聞ける機会を作ってくださいありがとうございます。
- * 長かったけどお話が上手くて楽しかった。地域語のあたたかさ、まさにその通りだと思いました。
- * 温かい人柄が一人語りに表れていました。時代の流れを語っていただき、両親の生まれた頃を知ることが出来ました。木津川さんのファンになりました。

交流会全般

- * 入り口のドアの外の話し声が気になり、朗読に集中できなかった。
- * 久しぶりの参加でしたが、以前より参加人数が少なく、ちょっと寂しい感じがした。
- * 内容が充実していてとても楽しかったです。今後もこのような催しを続けて下さい。



NHK巡回朗読セミナー

10月5日～7日、神戸会場と姫路会場にてNHK巡回朗読セミナーが開催され、朗V連からも多数の会員が受講されました。講師の先生及び受講生の皆様からの声を紹介します。

神戸会場Aコース

斎藤季夫先生からのメッセージ

いつものことですが、皆様の熱意に十分お応えできたか反省することばかりです。いろいろ言いましたが「読み」の奥の深さを楽しんでいただければ幸いです。

姫路会場Bコース

斎藤季夫先生からのメッセージ

遠い所から受講して下さる方もあって、それだけの距離を来ていただいて、果たして土産ができたか不安になりますが、何か課題の一つを種にさせていただいて、朗読の樹を育ててくだされば幸いです。

受講生アンケートからの抜粋

- ★ 基礎から教えてくださったので、とてもわかりやすく受講して良かったと思いました。
- ★ 間の取り方が大事であることがよくわかりました。
- ★ 録音機器の「要持参」などの連絡が必要だと思います。
- ★ 朗読の全体論というようなご指導が良かったです。



姫路会場Cコース

秋山和平先生からのメッセージ

これまで何回か兵庫の皆様と勉強する機会をいただいておりますが、そのたびに熱心なとりくみを感じています。朗読で注意する点としては、文字ことばでみる意味のまとまりと、声のことばとして聞き取る意味のまとまりでは、まとめ方に違いが起きるケースがあるということです。「声で読む」「声で聞く」特性をいつも考えて、よりよい読みのため努力していただきたいと思います。

受講生アンケートからの抜粋

- ★ 丁寧に教えていただきよく解りました。今年学んだことを身につけて来年は同じ指摘を受けないよう頑張ろうと思います。
- ★ 以前は神戸まで出かけていましたが、姫路会場があつて助かります。
- ★ 日頃「まあいいか」ですごしてしまうことがよくあり、この講座を受けていつも反省。明日からの活動にカツを入れて初心に戻り頑張りたいと思いました。

《神戸会場Aコース受講生の声》

篠山市「山うぐいす」

鈴木由子

受講生の人数が多かった（20人）ので、熱意が感じられ、よい刺激を受けました。講師の先生にいろいろ指摘されたことはこれからの私の課題です。

特に次の基本

1. 文字を読みあげようと思わず、話してみましよう。
2. とりあえず目の前の文を読むのではなく、内容に即した「間」をとりましよう。を忘れないようにしたいと思いました。



第18回中山ワンダフルフェスタを終えて (天童 よしみ コンサート)



10月9日(金)午後2時開場、神戸文化ホールにて「天童よしみ コンサート」が開催されました。今年も中山視覚障害者福祉財団様のご厚意により、多くの朗V連メンバーが楽しいひと時を持つことができました。私たちの活動にご支援とご理解を頂きありがとうございます。

中山ワンダフルフェスタに参加して

ボランティアは楽しい！こう言うと不謹慎に聞こえますが、今日1日を振り返るとその感は否めません。今回初めて参加させていただきましたが、これも朗読との出会いのおかげ！中山視覚障害者福祉財団さまの支援事業の一つである音楽公演事業は今年も大盛況でした。湯川常務理事の挨拶に続き盲導犬貸与式があり、いよいよ開演。天童よしみさんの迫力ある歌声は最後まで会場を惹きこみ、トークや笑い満載で、会場の皆さんも私も、そして最前列に鎮座していた盲導犬たちも(?)大満足の1日でした。

明朗会 大永 親子

アイライトフェア2015に参加して

10月11日(日)神戸葺合文化センターでアイライトフェアが開催されました。朗V連から3名ボランティアで参加しました。道路の角々に立って、バスやタクシーでガイドヘルパーさんと歩いてくる人たちを会場へ案内しました。

会場では、ミニコンサート、医療講演、歩行訓練士配置の報告、パネルディスカッションがあり、みんな熱心に聞き入っていました。私は歩行訓練士のことを初めて知ったのですが、「行きたい所へ行きたい時にいつでも行けるサポート」という言葉が頭に残りました。

障がい者の方たちが、ライトセンターをいろいろ利用されていることもわかりました。ボランティアとちよつと学習の一日でした。

Y. N

ポシェットがインターネットで見られます！

神戸ライトセンターのホームページ (<http://www.klc.jpn.org>) を開き、所属団体の項目から「兵庫県朗読ボランティア連絡会」をクリックしてご覧ください。

朗V連へのお問合せ、ご意見ご要望がございましたら、下記担当幹事までお知らせください。

ブロック	地 区	氏 名
A	東部・北部地区	内 藤 美 保 (音訳V ともしび)
B	神戸・明石地区	森 本 八千代 (朗読の会 神戸草笛)
C	淡 路 地 区	吉 住 ミチエ (グリーンポエム)
D	東 播 地 区	丹 羽 雄 子 (グループ千草)
E	西 播 地 区	西 保 子 (朗読V.G 来夢)

『ポシェット』では各グループの活動などを紹介しています。どうぞ原稿をお寄せ下さい。

その他、耳寄りな情報やご意見、ご希望なんでも結構です！

編集後記： ☆ やっと(?)冬らしい寒さになりました。この冬は雪が降りそうですね・・我が家も早々にスタッドレスタイヤに交換しました(な)。

☆ こちらが笑えば 相手も笑う。こちらが怒れば 相手も怒る。相手が笑うか 怒るかはいつもこちらしだい。これ実証済みです。(ふ)